



サービスラーニング協定に基づく実習

## 立教女学院短期大学の1、2年生が

## 地域と協働して落書き消しを行いました！



28日（水）、立教女学院短期大学の1、2年生と梅里1丁目町会防犯自主団体、防犯活動普及員と杉並区・杉並警察署が協働して新高円寺地下自転車駐車場（梅里1丁目周辺）の落書き消しを行いました。防犯意識を高める事、犯罪の起きにくい社会づくりを推進する事を目的として、スプレー消去剤を用いて落書きを消し、駐車場の美しい景観を取り戻しました。

今年3月、杉並区と立教女学院短期大学（久我山4-29-23）は、サービスラーニングの実施に関する協定を締結しました。サービスラーニングとは、学校の教室内での学習と地域で行う奉仕活動を組み合わせた教育方法で、同学では学外の活動に参加することで、多種多様なバックグラウンドを持つ人々と共に生き、共に活動していくことができる柔軟なコミュニケーション能力と市民としてのマナーを身につける事を目標として、サービスラーニングを実施しています。

落書きの放置はまちの美観を損なうだけでなく、犯罪に対して住民が無関心であるサインと捉えられ、治安を悪化させる一因と言われています。そこで、同学のサービスラーニングの一環として、新高円寺地下自転車駐車場の落書き消しを地域のボランティアの方と共に行う事となりました。

本日午後1時半、立教女学院短期大学の学生や学生ボランティア、梅里1丁目町会防犯自主団体、防犯活動普及員、警察署と区の職員が作業を開始しました。駐車場の壁約5メートルにわたって書かれた落書きを4カ所に分散して、スプレー消去剤で浮かせて雑巾で拭き取っていきます。学生たちは



「中々落ちないですね」「押すように拭き取るときれいになりますよ」と、地域の人と言葉を交わし協力しながら作業に徹し、約1時間半後、きれいになった駐車場を前にして笑顔になりました。授業を担当している先生は「今後もぜひ地域の方々と協力してこのような取り組みを行い、生徒に色々な体験をしてもらいたい」と話していました。

### 【問い合わせ先】

危機管理室危機管理対策課 TEL：3312-2111

総務部広報課 TEL：3312-2111